

発表会に向けての活動

作成日:2021/11/16

作成者:山川大地 大石京香

☆保育のねらい

- ・ 共通の目的を持ち、意欲的に取り組もうとする。
- ・ 友達や保育者と全身を動かして踊る楽しさを味わう。



☆振り返り

発表会の活動に取り組んでいる年長児、最初は保育者の動きを真似して楽しんでいましたが、活動していく中で踊りを覚えて、友達を誘い合って楽しむ姿も見られるようになりました。自信を持って踊る姿を発表会まで見守っていきたいと思います。みんなにとって最後の発表会、本番だけが楽しかったと終えるのではなく今までの活動の過程も楽しかったと思えるような活動になっていればいいなと思っています。

発表会の最後には手作りした衣装を着てふじ組・かえで組と一緒にフィナーレを披露します。サイズを測ったり色を付けたリ装飾をしたり全部子ども達の手作りの衣装です。活動中は「ここ押さえてここか?」「これ使ってもいいよ」と友達と声を掛けながら、助け合ったり協力し合ったりしながら作った衣装を着て踊ります。衣装には、光る粉や見た目は絵の具だけどライトを当てると光る魔法の絵の具など初めて体験する絵の具を使って仕上げました。当日は暗闇で光る演出を子ども達と一緒に楽しめたらと思っていたのですが、今回は明るい空間で光る衣装を身にまといキラキラ輝いて踊る子ども達を応援して頂けたらと思います。発表会当日、よろしくお祈りします。(健康な心と体、協同性、社会生活との関わり、数量・図形、文字等への関心・感覚、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現)